

令和3年8月5日(木)
 国土交通省関東地方整備局
 企画部
 荒川下流河川事務所

記者発表資料

「R2荒川左岸扇地区緩傾斜堤防他工事」において「CCUS活用推奨モデル工事」を東京都内の国土交通省直轄工事で初めて試行します。

「R2荒川左岸扇地区緩傾斜堤防他工事」において、受注者が建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用の取組を希望した場合に指標毎の目標基準の達成状況に応じて工事成績評定点に加点を行う「CCUS活用推奨モデル工事」を試行します。

今回の試行は、東京建設業協会から試行の要望を受け実施するものであり、東京都内の国土交通省直轄工事では初めての取り組みとなります。

○スケジュール

入札公告、入札説明書交付 : 令和3年 8月 6日 (金)
 競争参加資格申請書の提出期限 : 令和3年 8月20日 (金)
 入札書、工事費内訳書の提出期限 : 令和3年 9月 3日 (金)
 開札日 : 令和3年10月 4日 (月)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、都庁記者クラブ、神奈川建設記者会

お問い合わせ先

【試行に関する問合せ】

国土交通省 関東地方整備局 企画部 電話 048-601-3151 (代表)
 技術管理課 課長 荒井 満 (あらい みつる) (内線3311)
 建設専門官 鷺谷 欣也 (わしや きんや) (内線3312)

【発注予定工事に関する問合せ】

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 電話 03-3902-2311 (代表)
 副所長 (事業グループ) 田村 匡弘 (たむら まさひろ) (内線204)
 国土強靱化企画室長 鳥居 隆之 (とりい たかゆき) (内線311)

1. 試行内容

受注者が工事着手前に発注者に対して建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用に取り組む旨を希望した場合は、下表のとおり3つの指標（以下、「3指標」という）の最低基準及び目標基準を指定し、指標の取り組みの達成状況に応じて工事成績評点において加点を行います。

指標	最低基準	目標基準
平均登録事業者率	70%	90%
平均登録技能者率	60%	80%
平均就業履歴蓄積率	30%	50%

2. 施工段階

受注者が工事着手前に発注者に対してCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、特記仕様書に定めた時期に、受注者から3指標の取り組み状況の報告を求めます。

3. 工事成績評定（工事完成検査／成績評定時）

受注者が工事着手前に発注者に対してCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、下記のとおり3指標の達成状況に応じて工事成績評点で加点を行います。

① 受注者が3指標全てにおいて目標基準を達成した場合は1点加点

⇒ 考査項目別運用表 「5. 創意工夫」「その他」で加点

② 上記①に加え、平均登録技能者率90%以上を達成した場合は同考査項目でさらに1点加点（①と②で合計2点加点）

なお、受注者が3指標いずれかにおいて最低基準を達成しなかった場合は、工事完成検査終了後に受注者から工事名、未達成の項目、要因及び改善策の報告を求めます。

R2荒川左岸扇地区緩傾斜堤防他工事の概要

■工事概要

- (1) 工事名 : R2荒川左岸扇地区緩傾斜堤防他工事
- (2) 工事場所 : 東京都足立区扇二丁目地先、葛飾区堀切四丁目地先
- (3) 工期 : 契約締結の翌日から令和4年3月25日まで
- (4) 入札方式 : 一般競争入札方式(同時提出型) 総合評価落札方式
「地域密着工事型」
- (5) 工事種別 : 一般土木工事(C等級)
- (6) 工事内容(概要)



【扇地区】

- ・法覆護岸工 1式
 - 大型連節ブロック張 約2,600m²
 - 連節ブロック張 約520m²
 - 矢板工(ハット形鋼矢板) 約100枚
- ・法尻排水工 1式
- ・舗装工 1式
- ・構造物撤去工 1式
- ・仮設工 1式

【堀切地区】

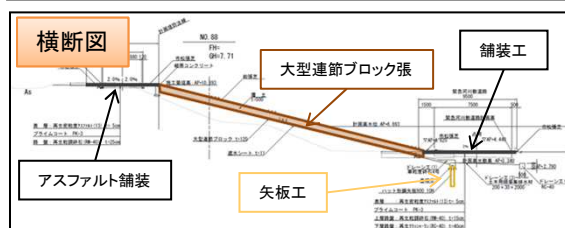
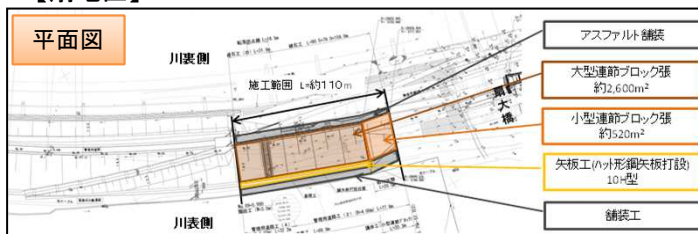
- ・道路土工 約200m³
- ・法面工 1式
- ・付帯道路工 1式
- ・構造物撤去工 1式
- ・仮設工 1式

(7) スケジュール

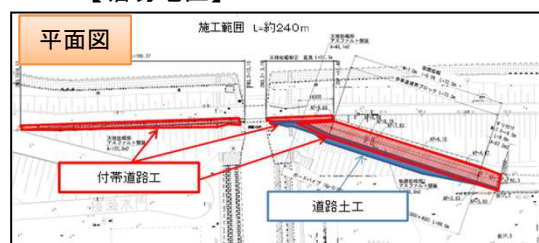
- 入札公告、入札説明書交付 : 令和3年 8月 6日(金)
- 競争参加資格申請書の提出期限 : 令和3年 8月20日(金)
- 入札書、工事費内訳書の提出期限 : 令和3年 9月 3日(金)
- 開札日 : 令和3年10月 4日(月)

■工事内容

【扇地区】



【堀切地区】





- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- 若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じ給与を引き上げ、将来にわたって建設業の担い手を確保し、ひいては、建設産業全体の価格交渉力を向上させるもの
- また、労務単価の引き上げや社会保険加入の徹底といった、これまでの技能者の処遇改善の取組をさらに加速させるもの

<建設キャリアアップシステムの概要>

※システム運営主体
(一財) 建設業振興基金

技能者情報等の登録



【事業者情報】

- ・商号
- ・所在地
- ・建設業許可情報 等

【技能者情報】

- ・本人情報
- ・保有資格
- ・社会保険加入状況等

【現場情報】

- ・現場名
- ・工事の内容
- ・施工体制 等

カードの交付・現場での読取

ピッ!



現場入場の際に読み取り



技能者の経験の見える化・能力評価

評価基準に合わせてカードを色分け



レベル1
初級技能者 (見習い)



レベル2
中堅技能者 (一人前の技能者)



レベル3
職長として現場に従事できる技能者



レベル4
高度なマネジメント能力を有する技能者 (登録基幹技能者等)

就業履歴を蓄積

現場管理のIT化・書類削減



見積り・請求のエビデンスとしての活用

施工実績DB・ビッグデータとしての活用